アヤマダイ 株式会社

プラスチック金型に模様を施すシボ加工に強み

海外発注可
納期相談

HPでシボ加工やシボパターンなどを紹介

主な事業内容
プラスチック成形用金型のシボ加工、成形品のブラスト加工など

主な取引先(納入先)
弱電関連企業、医療関係企業、日用品雑貨企業

主な製品
家電・医療・日用品関連のプラスチック成形用金型など

業務内容

三重県で起業、社名は創業の地の名前から

アヤマダイは、プラスチック成形用金型のシボ加工を主な事業としている。シボ加工とは、金型に薬品処理（エッチング）や研磨材の吹き付け（サンドブラスト）などの方法で模様を付与する技術。その金型に樹脂を流し込めば、表面に木目模様や皮模様・幾何学模様、文字などが描かれ、その商品に高級感が生まれる。

同社はシボ加工などの技術を持つ数人の技術者により、昭和41年に三重県阿山町（現伊賀市）で設立した。阿山町をスタートの地としたのは、「創業者グループの中に同町出身者がいて土地を借りられたから」と、樋口忠司社長は話す。社名もその土地の名から取っている。

強み

強固な協力会社との結び付きで短納期を実現

本社を大阪府内に移した後も、社名は変えていない。個性的な社名で認知されやすいメリットがあり、すでに顧客の間でブランドとして定着しているからだという。また、同社はオーナー企業ではなく、樋口社長も叩き上げ。加工職人の採用では、美術に興味があることを重視しており、複雑なシボ加工のデザインも顧客に提案できる芸術肌の職人が育つ雰囲気がある。

協力会社との結び付きが強いのも同社の強みだ。シボ加工の前工程での溶接やめっき、磨きなど金型メンテナンスもトータルで受注できるため、様々な要望に短納期で応えられる。顧客からの信頼は厚く、顧客層は家電や自動車、医療機器メーカーから日用品メーカーに至るまで幅広い。

技術開発

反転シボ加工「ARシリーズ」に注力

多種多様で繊細な加工ができる技術力とデザイン提案力を生かし、今後は、日用品を中心に取り扱う金型の幅を広げていく方針。プラスチックだけでなく進物用詰め合わせ箱など、発泡スチロールに高級感を持たせる金型加工にも力を入れる。

また最近、伸びているのが、金型表面の凹凸を通常とは逆にした反転シボ加工「ARシリーズ」だ。プラスチック表面に爪などの傷がつきにくい加工技術であり、今後、受注拡大を図る。

金型表面を加工し、完成した成形品

シボ範囲以外をテープなどで覆う

社長あいさつ

代表取締役
樋口 忠司さん

当社の強みは小規模企業ならではの柔軟な対応力と卓越した技術力です。意匠面でお悩みの場合、あらゆる角度から模様を提案し、お客様に選んでいただきます。金型からの離形抵抗トラブルについても金型構成・樹脂の流れから分析し、改善提案をして、お客様のご要望にお応えします。

主な保有設備

- エッチングマシン YCE-71 山縣機械製 2台
- ブラストマシン 不二製作所製 5台
- 測定機 SJ-500 ミツトヨ製 2台
- 測定機 VR-5000 キーエンス製 1台

大阪 04

住　所／〒570-0002
守口市
佐太中町3-13-29
ＴＥＬ／06-6902-0872
ＦＡＸ／06-6902-3787
創　業／昭和41年1月
設　立／昭和47年9月
資本金／1,000万円
社　員／15名

https://ayamadai.jp/